『全国創業者列伝』

著者：鈴木隆祐
出版：双葉社
発行：2012 年 12 月 9 日



近年、地域の文化、風習を見直す動きが広がっている。それらの動きは、テレビや新聞等のパブリシティによって、伝統的な祭りの再興やご当地グルメフェアなどの盛り上がりなどからも理解することができる。本書は、祭や食などに焦点を当てるのではなく、地域独特の文化、風土から生まれた創業者合計約 800 人に焦点を当て、分析したものである。

どんな人間でも故郷はあるし、愛着はあるだろう。それは東京や大阪などの大都市においてもあてはまり、その思いは故郷から遠く離れれば離れるほど強くなるともいわれている。出身地を紹介する一般的な会話は、観光名所や旧跡、名物の他に芸能人やプロスポーツ選手を輩出等の話術が用いられる。そのような話題は、聞き手にとって、出身地の風土を知る大きな手掛かりになる。そしてそれらの知識は、生まれ育つ中で自然と身についてくる。しかし故郷から育った企業、そこから輩出した有名な経営者に話題が及ぶことはまずないのではないか。まず本書はそうした出身地を紹介する会話において大いに参考となる知識を提供するものである。

本書の構成は、47 都道府県ごとに地場企業、大企業を問わずその創業者の生い立ちについて詳しく述べられている。そして取り上げた創業者の設立した企業は、生徒・学生も知っているであろう知名度のある企業から、特色のある企業、現存しないが一世を風靡した企業など、さまざまな業界及んでいる。生い立ちでは、学歴を中心に創業者を輩出した一家の家族構成や家業、親族の創業者にも拡がっている。特に起業教育そしてキャリア教育につながる部分として２点があげられる。第１に、自分の今いるところで創業者が生まれ育ち、どのように拡大させたのかを経営史的視点により、当時の経済情勢を織り交ぜながら解説すると生徒・学生も企業経営が身近に感じられるからである。第２に、東海地方に多く見られる地場産業、伝統産業を基礎として成長している企業を例に、どのようにして転換し、成長してきたのかを経

営戦略の視点から分析することにより、わかりやすい教材として使える点である。

しかし本書は、各創業者に共通した経営理念やベンチャースピリットについては述べられておらず起業家論の視点からすると、やや不足したものであるが、起業教育において大いに参考となる一冊である。

起業教育委員会委員
大阪商業大学 総合経営学部 商学科 准教授　中嶋嘉孝